

別記様式第3号 変更後の土地改良事業計画の概要

県営白浜地区土地改良事業（農業用排水施設（用水））変更計画概要書

1 計画変更の内容

項目	変更前	変更後	増減
地域	熊本市西区河内町	熊本市西区河内町	
地積	18.2ha	12.4ha	△5.8ha
主要工事	農業用用水工 A=18.2ha	農業用用水工 A=12.4ha	△5.8ha
工事着手及び完了予定時期	着手 平成25年度 完了 平成29年度	着手 平成25年度 完了 令和10年度	
総事業費 (換地区)	201,600 千円 (うち事務費 9,600 千円)	194,145 千円 (うち事務費 9,245 千円)	△7,455 千円 (うち事務費 355 千円)

2 計画変更を必要とする理由

【一定地域の変更】【事業目的別面積の変更】（△5.8ha）

アンケート調査によって、スプリンクラー設置の希望調査を行ったところ、設置箇所に変更が生じ、受益面積が減少した。

【事業費の変更】

(1) 計画面積の減少に伴う事業費の減（△18,455千円）

アンケート調査の結果、設置希望箇所が変更となり計画面積が減少した。

(2) 測量試験費の減（△11,000千円）

計画面積の減少に伴い、測量試験費が減額となった。

(3) その他自然増等（22,000千円）

3 変更後の土地改良事業計画の概要

(1) 事業の目的

本地区は熊本市の北西部、玉名市天水町と境界を接した旧河内町の最北端に位置している。県内1位の生産高を誇る金峰山オレンジベルト地域の一角をなし、旧来

より温州ミカンの生産が盛んにおこなわれてきた地域である。現状においても、極早生、早生、普通温州やデコポンなど多種類の栽培がおこなわれている。

しかしながら、かん水や防除作業は点在する取水施設より作業用トラックに積載したタンクに取水し、動力噴霧器を用いて行っており、多大な労力を要している。また、熊本市近郊という地理的利点があるにもかかわらず、高齢化と後継者不足が進行しており、家族による労働力を主としている本地区の農業では、年齢の底上げや後継者不足による労働力不足が危惧されている。

このことから、本地区の農業経営の効率化と安定を図るためには、集中バルブ方式のスプリンクラーを導入することにより、かん水作業や防除作業の省力化を図ることが必要である。

(2) 施行に係る地域の所在、地積及び現況

①地域の所在 熊本県熊本市西区河内町地内

②地積 (単位: ha)

地 目 市町村名	現 況					計 画				
	田	畑 (樹園地)	道・水路	その他	計	田	畑 (樹園地)	道・水路	その他	計
熊本市	()	12.4 (18.2)	()	()	12.4 (18.2)	()	12.4 (18.2)	()	()	12.4 (18.2)
	()	()	()	()	()	()	()	()	()	()
計	()	12.4 (18.2)	()	()	12.4 (18.2)	()	12.4 (18.2)	()	()	12.4 (18.2)

上段: 変更後 下段: (変更前)

③現況

1) 地形

有明海に面し、国道 501 号及び県道熊本玉名線に囲まれた標高 2.7m～244.0m、地区の東から西へ傾斜した平均傾斜 12.2° の樹園地帯である。

2) 水利状況

a 用水状況

点在する取水施設から作業用トラックに積載されたタンクに取水し、各園地へ運搬したのち、動力噴霧器と送水ホース及びノズルを使ってかん水や防除を行っている。

b 排水状況

該当なし

3) 道路状況

該当なし

4) 営農状況

本地域では有明海に面した傾斜地のほぼ全域で、温州みかんを中心とした柑橘類の栽培が盛んに行われている。しかし、みかん栽培に不可欠である防除やかん水に多大な労力を要しており、また、近年のみかんの価格低迷や農業従事者の高齢化や後継者不足により、今後の営農に不安を抱える状況である。

5) 地域環境の状況

本地区は、熊本市農村環境計画の環境配慮区域に位置する樹園地帯である。本事業では、事業後の大幅な環境の変化がないため直接的な配慮対策は行わない。

a 植物

本地区の植物は、希少種は確認されていない。

b 動物

本地区の動物は、タヌキ、イタチ、ノウサギやスズメ、ヒヨドリ、メジロ等が生息している。しかし、希少種などは確認されていない。

c 景観

本地区は、熊本市北西部、旧河内町の最北端に位置し、有明海を望む樹園地帯である。受益地は、標高 2.7～244.0m程度の傾斜地帯であり、旧来より石積みを築き園地を形成している。

(3) 基本計画

①要旨

本事業により、農業用用水整備を実施することで、効率的な地域農業の確立を促進し農家経営の安定はもとより将来への優良農地の維持保全を図る。

②事業別面積

全体面積： 110.8ha (115.0ha)

農業用用水整備： 12.4ha (18.2ha)

③用水量及び排水量

該当なし

(4) 工事計画

農業用用水工 A=12.4ha (スプリンクラー)

(A=18.2ha (スプリンクラー))

(5) 環境との調和への配慮

本地区は、熊本市農村環境計画において、環境配慮区域に設定されている。

このため事業においては、現況の自然環境を十分把握し、環境への影響を緩和するよう以下のとおり配慮を行う。

- ・ 工事期間中、貴重な生物等が確認された場合、捕獲・採取し移植を行い生態系への影響の軽減を図る。

(6) 換地計画の要領
該当なし

(7) 費用の概算

主要工事費	156,000 千円 (152,000 千円)
測量及び設計費	28,900 千円 (40,000 千円)
小計	184,900 千円 (192,000 千円)
地方事務費	9,245 千円 (9,600 千円)
総事業費	194,145 千円 (201,600 千円)

(8) 事業の効果

項目 区分	年増加見込効果額 (千円)	年増加見込所得額 (千円)	備考
食料の安定供給の 確保に関する効果	5,872 (4,707)	6,735 (5,468)	作物生産効果
	2,562 (4,027)	2,562 (4,027)	営農経費削減効果
			維持管理費削減効果
			営農に係る走行経費削減効果
農業の持続的発展 に関する効果			災害防止効果
	2,574 (3,494)		農業労働環境改善効果
農村の振興に関する効果			一般交通費削減効果
その他	838 (-)		国産農産物安定供給効果
合計	11,846 (12,228)	9,297 (9,495)	令和3年度単価

総費用（現在価値）： 174,027 千円
(204,843 千円)

総便益（現在価値）： 207,064 千円
(221,567 千円)

総費用総便益比： 207,064 千円 / 174,027 千円 = 1.18
(221,567 千円 / 204,843 千円 = 1.08)

(9) 地区を数区に分けた場合は、その旨及び理由
該当なし

(10) 他事業との関係

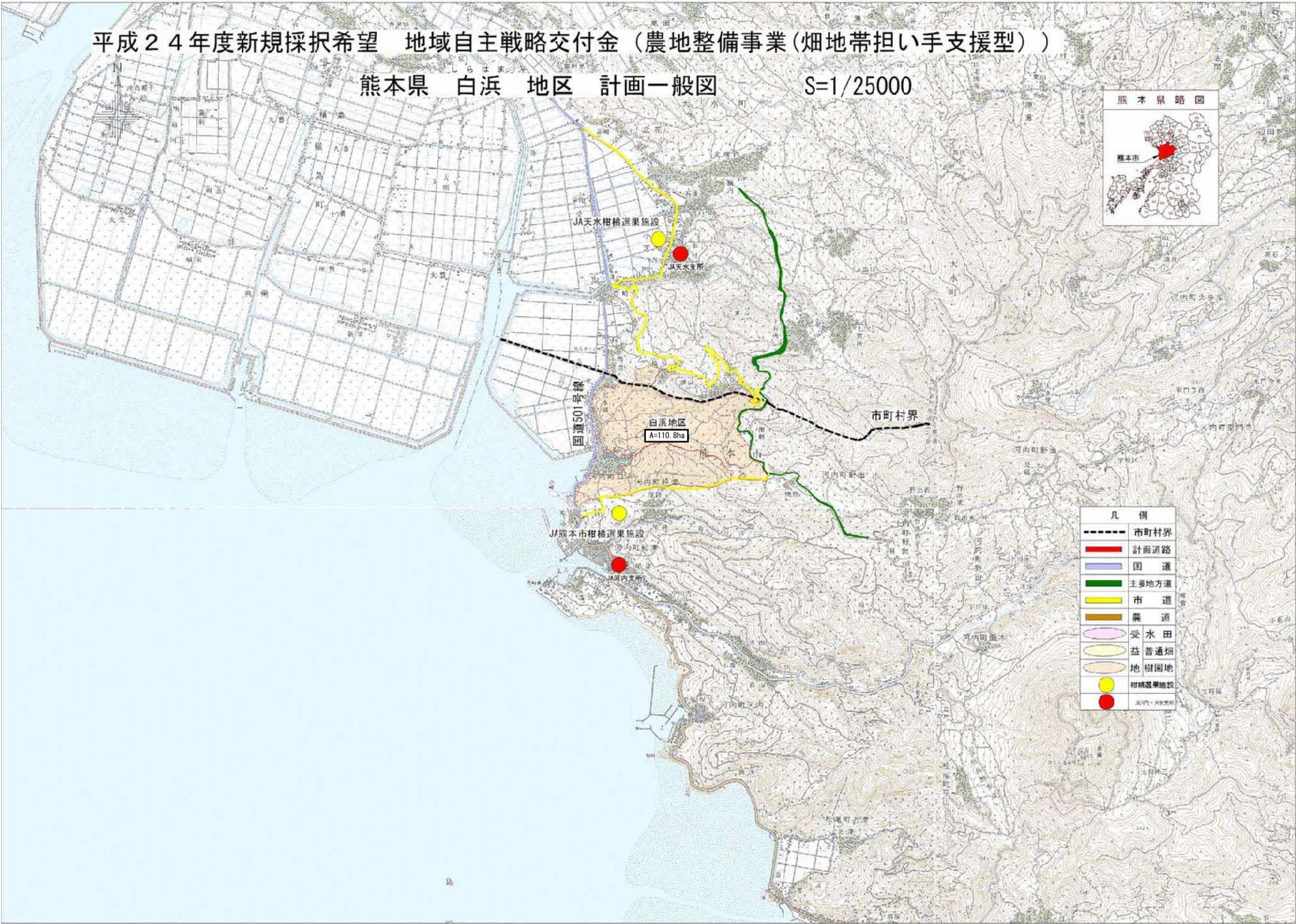
- ・ 県営白浜地区土地改良事業（農業用道路）
- ・ 県営白浜地区土地改良事業（農業用排水施設）（排水）

(11) 計画概要図
別紙添付

平成24年度新規採択希望 地域自主戦略交付金（農地整備事業（畑地帯担い手支援型））

熊本県 白浜 地区 計画一般図

S=1/25000

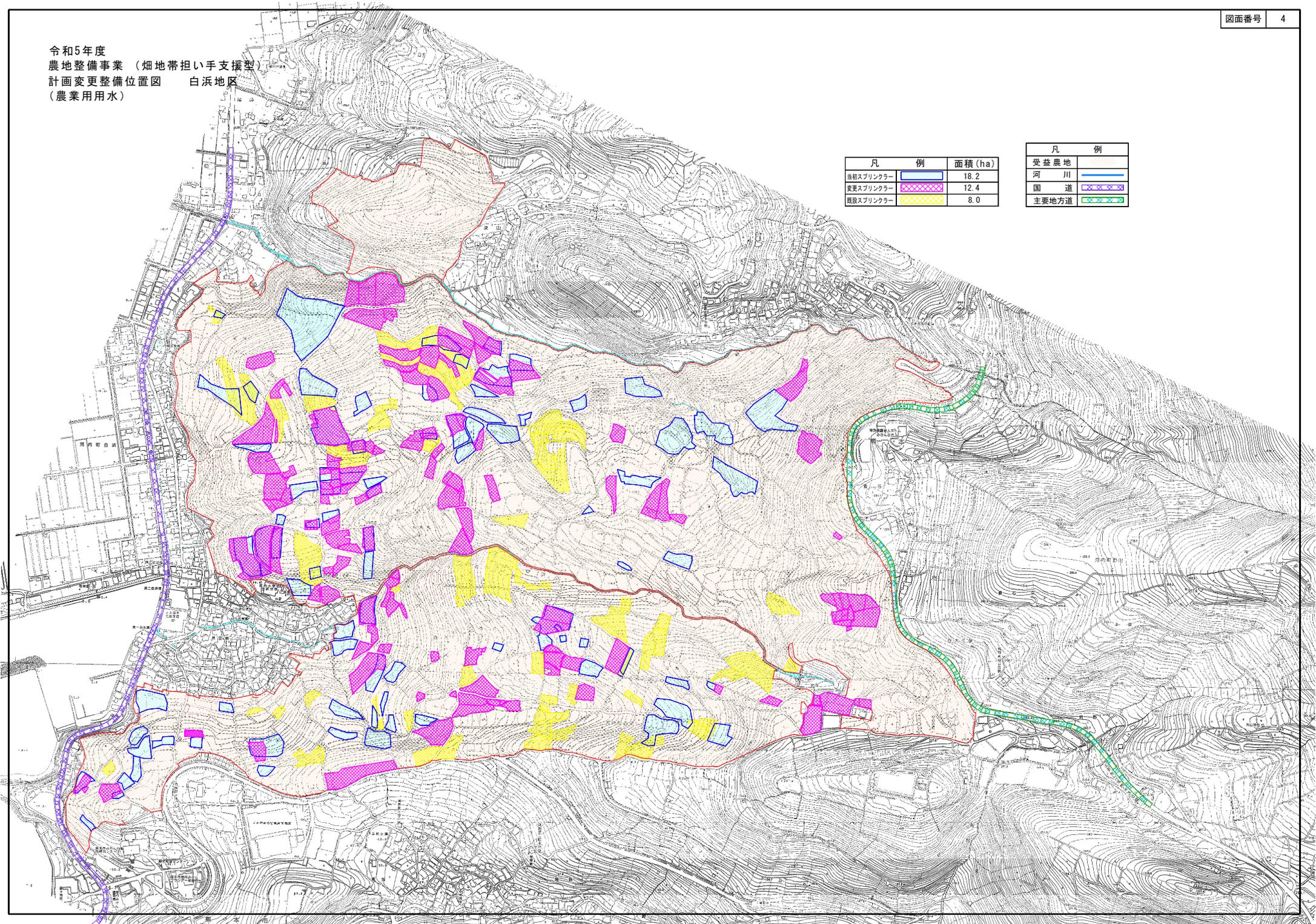


凡例	
-----	市町村界
-----	計画道路
-----	国道
-----	主要地方道
-----	市道
-----	農道
-----	受水田
-----	益普通畑
-----	地樹園地
●	柑橘選果施設
●	JA門・JA支所

令和5年度
農地整備事業（畑地帯担い手支援型）
計画変更整備位置図 白浜地区
（農業用水）

凡	例	面積 (ha)
当初スプリンクラー		18.2
変更スプリンクラー		12.4
既設スプリンクラー		8.0

凡	例
受益農地	
河川	
国道	
主要地方道	



末端(スプリンクラー)施設

H=2,000~3,500

畑かん(防除)施設

集中バルブ施設

